

第1章 総論

1 調査の目的

野生動植物は生態系の重要な構成要素であるだけでなく、自然環境の重要な一部として人間の豊かな生活に欠かすことのできないものである。

しかし、近年の開発や土地利用による生育・生息地の破壊、消失、生育・生息環境の悪化などにより、多くの種が絶滅、または絶滅のおそれが生じている。

本市の野生生物の調査は、昭和60年度(1985年度)、61年度(1986年度)の2か年にわたって実施し、63年(1988年)3月に教育委員会から「広島市の文化財第39集 広島市の動植物、広島市稀少^き生物調査報告」として報告されたが、その後は調査が行われていなかった。

このため、本市の動植物の分布状況を把握し、環境影響評価の審査に活用するとともに、本市の各種施策への反映を図るため、平成10年度(1998年度)、11年度(1999年度)の2か年をかけて、広島市の生物調査を実施し、その調査結果を取りまとめ、平成12年(2000年)3月に、いわゆるレッドデータブックとして「広島市の生物—まもりたい^{いのち}生命の営み—」(以下、「広島市の生物」という)を作成した。

本調査は、平成17年(2005年)4月25日に広島市と湯来町が合併したことに伴い、旧湯来町の区域における野生生物の生育・生息状況を詳細に把握するとともに、平成12年度(2000年度)以後の新たな情報を整理することにより、「広島市の生物」を補完することを目的として実施した。

2 調査の方法

(1) 調査体制

野生生物の現状の把握及び絶滅のおそれのある種の選定については、熟知した専門家の協力を得ることなしには実施できないことから、平成10年度(1998年度)、11年度(1999年度)の広島市の生物調査にあたった「広島市の生物調査団」の検討委員を中心とする検討委員会を設置し、調査及び結果の取りまとめを行った。

検討委員会の委員は、表1のとおりである。

表1 検討委員会委員

区分	氏名	担当分類群	所属
植物	世羅徹哉	種子植物	広島市植物公園
	田丸豊生	シダ植物	広島市立梅林小学校
	関 太郎*	コケ植物・地衣類・藻類・菌類・巨樹・群落	広島大学名誉教授
動物	畑瀬 淳	哺乳類	広島市安佐動物公園
	上野吉雄	鳥類	広島県立広島西養護学校
	内藤順一	爬虫類・両生類・淡水魚類・甲殻類・貝類	広島県立安古市高等学校
	坂本 充	昆虫類・クモ類	広島市森林公園昆虫館

*委員長

(平成18年(2006年)3月現在)

作業は、「広島市の生物」作成作業とほぼ同様に、以下の作業フローに沿って進めた。

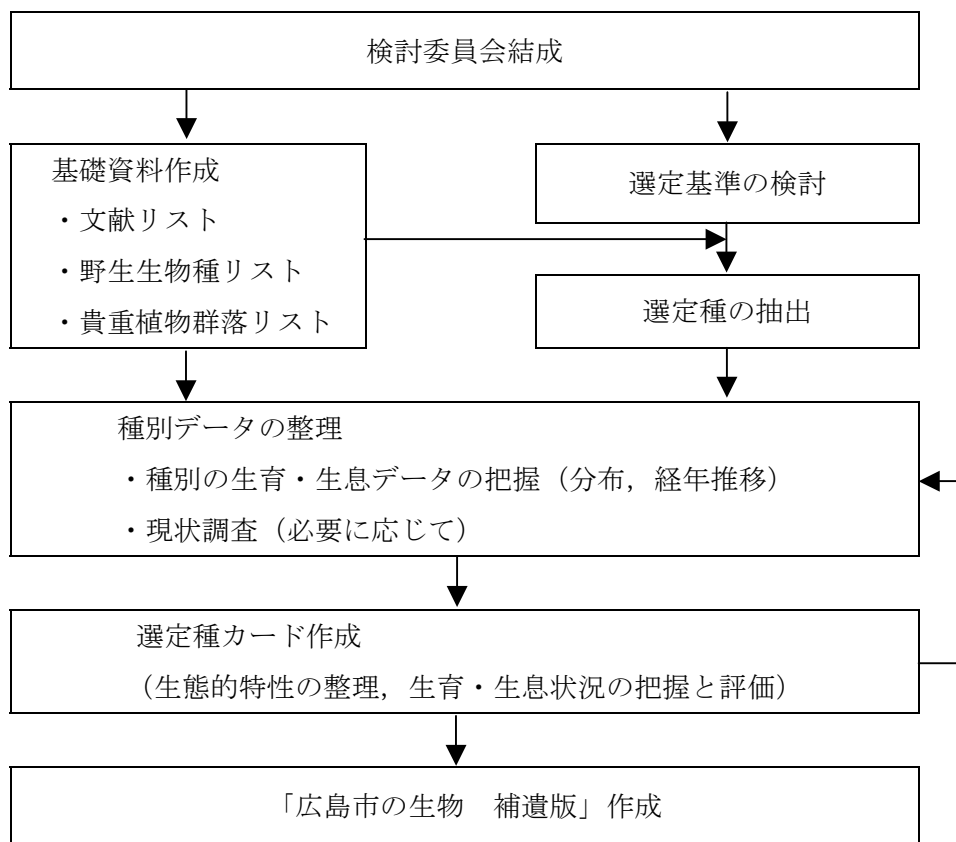


図1 作業フロー

(2) 調査対象

調査の対象とする生物群については、検討委員会で、「広島市の生物」と同様に以下のとおりとした。ただし、多毛類はゴカイのなかまで、湯来町での生息が想定されないことから、今回は調査を行わなかった。

なお、地衣類と菌類は、便宜上植物として扱った。

植 物

- ・種子植物
- ・シダ植物
- ・コケ植物
- ・地衣類
- ・藻類（シャジクモ類）
- ・菌類（キノコ類）

- ・群落
- ・巨樹

動物

- ・哺乳類
- ・鳥類
- ・爬虫類
- ・両生類
- ・淡水魚類(円口類を含む)
- ・昆虫類
- ・クモ類
- ・甲殻類
- ・貝類
- ・多毛類

なお、分類群の名称や専門用語は、文部省学術用語集 植物学編(増補版)(1990)、動物学編(増補版)(1988)に従っている。

(3) 調査方法

旧湯来町の区域における調査(以下、「湯来地区の調査」という)は、これまでに公表された旧湯来町の野生生物に関する文献の整理及び現地確認により行った。

種子植物の生育調査は、これまでに公表された文献だけでなく、現在公表に向けて印刷中の論文や植物研究家のフィールドノートなども含め、合計113件の文献を調査し、そのうち86件の文献を引用した。また、広島県植物誌編纂のために提供された県内の植物研究家が所有する標本情報も調べた。さらに、特に植物相が豊富であると考えられる恵下谷山国有林及び不明山^{あけず}国有林内を中心に旧湯来町内の林道や登山道沿いに出現種を記録する現地調査を行った。

シダ植物の調査は、文献に記録のある種で旧湯来町で調査され記録されているものうち、「改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブックひろしま2003—」及び「広島市の生物」に記載されている種を現地調査により確認する方法で行った。

コケ植物・地衣類・藻類の調査は現地調査により、菌類の調査は専門家への聞き取りに

より行った。

群落・巨樹の調査は文献調査及び現地調査により行った。

哺乳類の生息調査は、直接観察が困難な種が多いため、痕跡による間接的な調査を中心に行った。なお、鍾乳洞内に生息するコウモリ類は姿の目視による直接観察を行った。

鳥類の生息調査はさえずりの確認や姿の目視によって行った。目視の際には8倍の双眼鏡を用いて確認した。現地調査は、山林の代表として東郷山、大峯山、天上山、佐伯区湯来町多田地区本多田を、溪谷林の代表として佐伯区湯来町麦谷地区門出口や和田地区のスギ林を、河川の代表として水内川や八幡川の上流を集中的に調査した。

爬虫類の調査は、現地を踏査することにより生息種の確認を行った。

両生類の調査は、現地調査及び過去の調査データを整理することにより行った。

淡水魚類(円口類を含む)の調査は、現地調査及び過去の調査データを整理することにより行った。

昆虫類・クモ類の調査は、現地を踏査することにより生息種の確認を行った。

甲殻類・貝類の調査は、文献調査及び現地調査により行った。

3 絶滅のおそれのある種と環境指標種

(1) 選定基準

広島市の絶滅のおそれのある野生生物等のカテゴリの定義は、「広島市の生物」と同様に、表2に示すとおりとした。（詳細については、付録「選定基準」参照）

調査の結果から、新たに「広島市の絶滅のおそれのあるもの」として取り上げることが適当であると判断された種は、適切なカテゴリを当てはめた。また、すでに「広島市の絶滅のおそれのあるもの」として取り上げられている種のうち、旧湯来町での生息状況及び他地域内の新知見から、カテゴリを変更することが適当であると判断された種は、カテゴリを変更した。

環境省レッドデータブック(環境省RDB)、水産庁レッドデータブック(水産庁RDB)としては、以下の文献を用いた。

環境省編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 1 哺乳類」、自然環境研究センター，2002

環境省編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 2 鳥類」、自然環境研究センター，2002

環境庁編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 3 爬虫類・両生類」、自然環境研究センター，2000

環境省編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 4 汽水・淡水魚類」、自然環境研究センター，2003

環境省編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 5 昆虫類」、自然環境研究センター，2006

環境省編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 6 陸・淡水産貝類」、自然環境研究センター，2005

環境省編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 7 クモ形類・甲殻類等」、自然環境研究センター，2006

環境庁編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 8 植物Ⅰ」、自然環境研究センター，2000

環境庁編、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 9 植物Ⅱ」、自然環境研究センター，2000

水産庁編、「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」、日本水産資源保護協会，1998

また、広島県レッドデータブック(広島県RDB)としては、以下の文献を用いた。

広島県版レッドデータブック見直し検討会編、「改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブックひろしま2003—」、広島県，2004

表2 カテゴリの定義

区分	基本概念	要件	備考
絶滅	絶滅	市域では、絶滅した可能性が高い。	市域において10～20年前の生育・生息記録があるが、その後の確実な記録がない。
	野生絶滅		市域において10～20年前の生育・生息記録があるが、その後の確実な記録がない。 公的な機関の管理下で、栽培・飼育されている。
広島市の絶滅のおそれのあるもの	絶滅危惧 絶滅の危険性の高いもの	現在の状態をもたらす圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来に市域での個体群の存続が危ぶまれる。	確実な情報により、つぎに該当するもの。 大部分の生育・生息地で、 ①個体数の大幅な減少、 ②生育・生息条件の明らかな悪化、 ③再生産を上回る捕獲・採取圧のいずれかが認められる。
	準絶滅危惧 存続基盤が脆弱なもの	現時点での危険度は小さいが、生育・生息条件の変化により上位ランクに移行する可能性が高い。	生育・生息状況の推移からみて、個体数の減少や生育・生息条件の悪化などの傾向が著しく、今後さらに進行するおそれがある。 または、環境条件の変化により、容易に危険度が増大する属性（希少性、特異性、孤立性など）を有する。
	軽度懸念	市域では、存続基盤が比較的安定している。	環境省レッドデータブック、広島県レッドデータブックの選定種であるが、市域では確実な情報により「絶滅危惧」「準絶滅危惧」にランクされないと判定できる。
	情報不足	希少な種であるが、市域での現状が不明である。	環境省レッドデータブック、広島県レッドデータブックの選定種であるが、ランクを判定する情報が得られていない。
環境指標種	重要な自然環境を積極的に保全する。	種（個体群）そのものは絶滅の危険性が大きいものではないが、その種（個体群）に注目することによって、特異な環境、生物多様性、二次的自然などの観点から、重要と判定される自然環境の維持に貢献しうる。	地域計画などに応用していくことを目的とする。

(2) 選定種

① 湯来地区調査の結果により追加、カテゴリを変更した選定種

湯来地区調査の結果により、「広島市の生物」に掲載されている選定種に追加した種は表3のとおり、種子植物がマツムシソウ、ウエマツソウ、ヒメフタバランなど24種、シダ類がスギランなど4種、コケ植物がクロゴケなど6種、地衣類が1種、群落がクロモジープナ群集など2群落、昆虫類が2種である。

表3 湯来地区調査の結果により追加された選定種

分類群	和名	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				環境指標種	法等指定状況		確認方法	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足		環境省RDB	広島県RDB	現地調査	文献調査
種子植物	マツムシソウ											
	ウエマツソウ							VU	CR+EN			
	ヒメフタバラン								VU			
	ヒメノヤガラ											
	ヨウラクラン								VU			
	キンセイラン							EN	CR+EN			
	サルメンエビネ							EN	CR+EN			
	マツラン								VU			
	トウゴクサバノオ								VU			
	オオヤマサギソウ								NT			
	ムヨウラン								NT			
	マルミノヤマゴボウ								NT			
	テツカエデ								NT			
	コハクウンボク								NT			
	ジャコウソウ								NT			
	マネキグサ							VU	NT			
	キヨスミウツボ								NT			
	シロバナイナモリソウ											
	カワラハハコ								VU			
	サンベサワアザミ								NT			
エンレイソウ												
タカネマンネングサ												
コミネカエデ												
オウギカズラ												
シダ植物	スギラン							EN	CR+EN			
	クラガリシダ							EN	CR+EN			
	フジシダ								VU			
	イワオモダカ								VU			
コケ植物	クロゴケ								CR+EN			
	ヒロハシノブイトゴケ							CR+EN	CR+EN			
	コウヤトゲハイゴケ								VU			
	ホソベリミスゴケ							DD	VU			
	カミムラヤステゴケ								CR+EN			
クマノチョウジゴケ								CR+EN				
地衣類	イワタケ								VU			
群落	クロモジ - ブナ群集											
	クロソヨゴ - ツガ群集											
	ウヤマキ亜群集											
昆虫類	ナベブタムシ											
	サワダマメゲンゴロウ											

(注)環境省RDB, 広島県RDB: EXは絶滅, CR+ENは絶滅危惧 類, CRは絶滅危惧 A類, ENは絶滅危惧 B類, VU は絶滅危惧 類, NTは準絶滅危惧, DDは情報不足

また、「広島市の生物」に掲載されている選定種のカテゴリを変更した種は表4のとおり、種子植物がクマガイソウ、ムギラン、オキナグサ、ホンシャクナゲなど10種、地衣類が3種、菌類が1種、群落が1群落、鳥類が2種、両生類が1種である。

表4 湯来地区調査の結果によりカテゴリを変更した選定種

分類群	和名	変更後						変更前						法等指定状況		変更理由	
		絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの		情報不足	環境指標種	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの		情報不足	環境指標種	自然誌構成種	環境省RDB		広島県RDB
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧			軽度懸念	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧						
種子植物	クマガイソウ			○											VU	CR+EN	解明度が向上したため
	ムギラン			○											VU	VU	解明度が向上したため
	オキナグサ			○											VU	VU	解明度が向上したため
	ホンシヤクナゲ			○							△					VU	減少が著しいため
	ノハナショウブ				○									△			自生地が少ないため
	キンラン				○									△	VU	NT	解明度が向上したため
	ヤマヒョウタンボク				○							△				VU	生育基盤が脆弱であるため
	コウヤマキ						○						△				解明度が向上したため
	ブナ						○							△			指標となる環境の重要性が高まったため
	イヌブナ						○							△			指標となる環境の重要性が高まったため
地衣類	アンチゴケ					○				△						VU	旧湯来町での生育状況が不明であるため
	チヂレトコブシゴケ					○				△							旧湯来町での生育状況が不明であるため
	ヘラガタカブトゴケ					○				△							旧湯来町での生育状況が不明であるため
菌類	ウスキブナノミタケ					○					△						旧湯来町での生育状況が不明であるため
群落	シキミーモミ群集					○					△						面積も広く、保護されている林分があるため
	アオバズク					○							△				繁殖個体が減少傾向にあるため
鳥類	フクロウ					○							△				繁殖個体が減少傾向にあるため
	トノサマガエル						○							△		NT	個体数が減少しているため

(注) 環境省RDB, 広島県RDB: EXは絶滅, CR+ENは絶滅危惧 I 類, CRは絶滅危惧 I A類, ENは絶滅危惧 I B類, VU は絶滅危惧 II 類, NTは準絶滅危惧, DDは情報不足

② 湯来地区調査以外の市域における情報により追加, カテゴリを変更した選定種

「広島市の生物」作成後の旧湯来町以外の市域における情報により, 特に, 「広島市の生物」に掲載されている選定種に追加したほうがよいと判断された種は表5のとおり, 種子植物がジンバイソウ, ケナシベニバナヤマシクヤクの2種, 昆虫類がマルチビゲンゴロウ, コマルケシゲンゴロウの2種である。

表5 湯来地区以外の情報により追加された選定種

分類群	和名	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				環境指標種	法等指定状況		確認方法	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足		環境省RDB	広島県RDB	現地調査	文献調査
種子植物	ジンバイソウ				○							○
	ケナシベニバナヤマシヤクヤク											○
昆虫類	マルチビゲンゴロウ			○							○	
	コマルケシゲンゴロウ			○						NT	○	

(注)環境省RDB, 広島県RDB: EXは絶滅, CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類, CRは絶滅危惧ⅠA類, ENは絶滅危惧ⅠB類, VUは絶滅危惧Ⅱ類, NTは準絶滅危惧, DDは情報不足

また、特に、「広島市の生物」に掲載されている選定種のカテゴリを変更したほうがよいと判断された選定種は表6のとおり、種子植物がキエビネの1種、鳥類がサシバの1種、爬虫類が3種、両生類がイモリの1種、魚類がゴクラクハゼの1種、昆虫類がコオイムシの1種である。

表6 湯来地区調査以外の情報によりカテゴリを変更した選定種

分類群	和名	変更後						変更前						法等指定状況		変更理由						
		絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				環境指標種	自然誌構成種		環境省RDB	広島県RDB				
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念						情報不足			
種子植物	キエビネ			○												△		EN	CR+EN	解明度が向上したため		
鳥類	サシバ																△			DD	繁殖個体が減少傾向にあるため	
爬虫類	イシガメ				○												△			NT	個体数が減少しているため	
	トカゲ				○												△			NT	急激に個体数が減少しているため	
	スッポン																△	DD	DD	減少しているが、状況が不明であるため		
両生類	イモリ																△			NT	個体数が減少しているため	
魚類	ゴクラクハゼ			○																CR+EN	再確認されたため	
昆虫類	コオイムシ			○																NT	NT	再確認されたため

(注)環境省RDB, 広島県RDB: EXは絶滅, CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類, CRは絶滅危惧ⅠA類, ENは絶滅危惧ⅠB類, VUは絶滅危惧Ⅱ類, NTは準絶滅危惧, DDは情報不足

③ 選定種

今回の湯来地区調査の結果、「広島市の生物」作成後の旧湯来町以外の市域における情報に基づく広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定種の数には表7のとおりである。

種子植物は78種から107種に、シダ植物は16種から20種に、コケ植物は19種から25種に、地衣類は9種から10種に、群落は15群落から17群落に、爬虫類は2種から5種に、両生類は4種から6種に、昆虫類が52種から56種に増加した。藻類、菌類、哺乳類、鳥類、淡水魚類(円口類を含む)、クモ類、甲殻類、貝類については、選定種数に変更はなかった。

この結果、広島市の絶滅のおそれのある野生生物等として、群落を含めて植物が206種、動物が131種の計337種が選定された。

分類群ごとの種別、カテゴリ別の選定状況は、表8(12～18ページ)のとおりである。

表7 各分類群の「絶滅」、「絶滅のおそれのあるもの」及び「環境指標種」の選定種数

分類群名	絶滅	広島市の絶滅のおそれのあるもの				環境指標種	計	
		絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足			
植物	種子植物	8 (7)	28 (15)	36 (23)	11 (11)	9 (14)	15 (8)	107 (78)
	シダ植物	3 (3)	7 (6)	6 (5)		3 (1)	1 (1)	20 (16)
	コケ植物	1 (1)	8 (5)	4 (3)	1 (1)	9 (7)	2 (2)	25 (19)
	地衣類		6 (9)	1 (0)		3 (0)		10 (9)
	藻類				1 (1)	3 (3)		4 (4)
	菌類		6 (6)	15 (16)		2 (1)		23 (23)
	群落	1 (1)	5 (4)	8 (8)	3 (2)			17 (15)
小計	13 (12)	60 (45)	70 (55)	16 (15)	29 (26)	18 (11)	206 (164)	
動物	哺乳類					10 (10)	1 (1)	11 (11)
	鳥類		2 (2)		3 (3)	17 (14)	3 (6)	25 (25)
	爬虫類			2 (0)	1 (1)	2 (1)		5 (2)
	両生類			2 (2)			4 (2)	6 (4)
	淡水魚類	0 (1)	8 (7)	6 (6)	2 (2)			16 (16)
	昆虫類	6 (7)	8 (5)	11 (10)	6 (5)	2 (2)	23 (23)	56 (52)
	クモ類				2 (2)			2 (2)
	甲殻類		1 (1)	3 (3)	1 (1)			5 (5)
貝類		1 (1)	4 (4)				5 (5)	
小計	6 (8)	20 (16)	28 (25)	15 (14)	31 (27)	31 (32)	131 (122)	
合計	19 (20)	80 (61)	98 (80)	31 (29)	60 (53)	49 (43)	337 (286)	

- (注) 1 ()内の数字は、「広島市の生物」(2000年3月)に掲載の選定種数を示している。
 2 野生絶滅、多毛種は選定種がないので示していない。
 3 巨樹は個体の指定がないので示していない。

表8 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況 その1

分類群	和名	絶滅						法等指定状況						備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB	水産庁RDB		広島県RDB
種	カワツルモ	○									EN		CR+EN		
	イトクズモ	○									VU		CR+EN		
	ナヨテンマ	○									CR		EX		
	ハナナズナ	○									CR		EX		
	タコノアシ	○									VU		CR+EN		
	カンコノキ	○													
	アキノクサタチバナ	○									CR		EX		
	マツムシソウ	○												追加	
	ホンゴウソウ			○								EN		CR+EN	
	ウエマツソウ			○								VU		CR+EN	追加
	オモゴウテンナンショウ			○								CR		VU	
	ホソバナコバイモ			○								VU		VU	
	ヒナノシャクジョウ			○										CR+EN	
	クマガイソウ			○								VU		CR+EN	情報不足より変更
	サギソウ			○								VU		VU	
	ウチョウラン			○								VU		VU	
	ヒナラン			○								EN		CR+EN	
	トキソウ			○								VU		VU	
	タシロラン			○								NT		CR+EN	
	ヒメフタバラン			○										VU	追加
	ヒメノヤガラ			○											追加
	ヨウラクラン			○										VU	追加
	キンセイラン			○								EN		CR+EN	追加
	キエビネ			○								EN		CR+EN	情報不足より変更
	サルメンエビネ			○								EN		CR+EN	追加
	ムギラン			○								VU		VU	情報不足より変更
	マツラン			○										VU	追加
	ツチトリモチ			○										VU	
	植	カザグルマ			○							VU		VU	
		オキナグサ			○							VU		VU	情報不足より変更
		トウゴクサバノオ			○									VU	追加
		ヤマシャクヤク			○							VU		NT	
ホンシャクナゲ				○									VU	準絶滅危惧より変更	
ツルマンリョウ(ツルアカミノキ)				○						指定				CR+EN	
フジバカマ				○							VU		CR+EN		
ウラギク(ハマシオン)				○							VU		VU		
コウキヤガラ					○										
アンペライ(ネビキグサ)					○										
物	キバナノアマナ				○										
	カタクリ				○										
	ノハナショウブ				○										自然誌構成種より変更
	ミズトンボ				○						VU		VU		
	ジンバイソウ				○										追加
	オオヤマサギソウ				○									NT	追加
	ムヨウラン				○									NT	追加
	キンラン				○						VU		NT	情報不足より変更	
	エビネ				○						VU		VU		
	ナツエビネ				○						VU		VU		
	セッコク				○										
	マメヅタラン				○						VU		NT		

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，
国内希少野生動植物種
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

表8 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況 その2

分類群	和名	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				法等指定状況						備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB	水産庁RDB		広島県RDB
種	クモラン				○									NT	
	キミズ				○										
	マルミノヤマゴボウ				○									NT	追加
	アズマイチゲ				○									VU	
	ユキワリイチゲ				○										
	ツメレンゲ				○							NT		NT	
	ユキヤナギ				○									NT	
	イワガサ				○										
	ツゲ				○										
	テツカエデ				○									NT	追加
	ナツアサドリ				○										
	ゲンカイツツジ				○							VU		NT	
	シロバイ				○									NT	
	コハクウンボク				○									NT	追加
	ジャコウソウ				○									NT	追加
	マネキグサ				○							VU		NT	追加
	キヨスミウツボ				○									NT	追加
	ムラサキミミカキグサ				○							VU		VU	
	シロバナイナモリソウ				○										追加
	ウスバヒョウタンボク				○							VU		VU	
ヤマヒョウタンボク				○									VU	軽度懸念より変更	
子	カワラハハコ				○									VU	追加
	ツルマオ					○								NT	
	オガタモノキ					○								NT	
	ナガミノツルキケマン					○					NT				
	アテツマンサク					○					NT				
	シイモチ					○								NT	
	ハマサジ					○					VU			NT	
	ミゾコウジュ					○					NT			NT	
	イヌノフグリ					○					VU				
	スズムシバナ					○									
植	キキョウ					○					VU			NT	
	サンベサワアザミ					○								NT	追加
	ミクリ						○				NT			NT	
	ヌカボタデ						○				VU				
	ヒロハマツナ						○				VU			VU	
	ケナシベニバナヤマシャクヤク						○								追加
	コイヌガラシ						○				NT				
	イヌハギ						○				VU			NT	
	ウドカズラ						○							DD	
	ミズマツバ						○				VU			NT	
物	カワヂシャ						○								
	コウヤマキ							○							情報不足より変更
	ヌマガヤ							○							
	エンレイソウ							○							追加
	ブナ							○							自然誌構成種より変更
	イヌブナ							○							自然誌構成種より変更
	タカネマンネングサ							○							追加
	トベラ							○							
	マルバシヤリンバイ							○							

(注) 文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，
国内希少野生動植物種
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

表8 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況 その3

分類群	和名	絶滅					環境指標種	法等指定状況					備考		
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念		情報不足	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB		水産庁RDB	広島県RDB
種子植物	コミネカエデ													追加	
	セトウチウンゼンツツジ (シロバナウンゼンツツジ)														
	キシツツジ											NT			
	ハマゴウ														
	オウギカズラ													追加	
	アオヤギバナ														
	フクド(ハマヨモギ)												NT		
	ミズワラビ												VU		
	デンジソウ										VU		CR+EN		
	サンショウモ										VU		CR+EN		
シダ植物	スギラン									EN		CR+EN	追加		
	ミズニラ								指定	VU		CR+EN			
	ハマハナヤスリ														
	ホソバショリマ											NT			
	ハイケイヌワラビ									EN		CR+EN			
	アキイヌワラビ											NT			
	イワヒトデ											VU			
	ハコネシダ														
	ナガサキシダ												NT		
	ツクシイワヘゴ														
	オニヒカゲワラビ														
	オクタマシダ														
	クラガリシダ										EN		CR+EN	追加	
	フジシダ												VU	追加	
	イワオモダカ												VU	追加	
	アカウキクサ										VU		NT		
	シノブ														
コケ植物	カワゴケ										CR+EN		DD		
	カビゴケ										CR+EN		CR+EN		
	クロゴケ												CR+EN	追加	
	クマノゴケ										CR+EN		VU		
	ユウレイホウオウゴケ														
	フロウソウ														
	ソリシダレゴケ														
	ヒロハシノブイトゴケ										CR+EN		CR+EN	追加	
	コウヤトゲハイゴケ												VU	追加	
	サワクサリゴケ														
	ホソベリミズゴケ										DD		VU	追加	
	エビゴケ														
	ツクシヒラツボゴケ														
	キノクニキヌタゴケ														
	カミムラヤスデゴケ												CR+EN	追加	
	ウロコゼニゴケ														
	ウキゴケ											CR+EN		NT	
イチヨウウキゴケ											CR+EN		CR+EN		
キセルゴケ													CR+EN		
クマノチョウジゴケ													CR+EN	追加	
ホウライスギゴケ															
ナワゴケ															
カトウゴケ											CR+EN		CR+EN		

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，
国内希少野生動植物種
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧 類，CRは絶滅危惧 A類，ENは絶滅危惧 B類，
VU は絶滅危惧 類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，VIは危急種，RIは希少種

表8 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況 その4

分類群	和名	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				法等指定状況					備考		
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB		水産庁RDB	広島県RDB
コケ植物	オオミズゴケ							○				CR+EN		NT	
	キヨスミトゴケ							○							
地衣類	トゲトコブシゴケ			○											
	オオスルメゴケ			○										VU	
	チヂレコヨロイゴケ			○										VU	
	エビラゴケ			○										VU	
	ウラグロエビラゴケ			○										VU	
	トゲヨロイゴケ			○											
	イワタケ				○									VU	追加
	アンチゴケ							○						VU	絶滅危惧より変更
チヂレトコブシゴケ							○								絶滅危惧より変更
ヘラガタカブトゴケ							○								絶滅危惧より変更
藻類	シャジクモ							○				CR+EN			
	オオシャジクモ							○				CR+EN		DD	
	ヒメフラスコモ							○				CR+EN			
	キノフラスコモ							○				CR+EN		DD	
菌類	ホシミノヌメリガサ (仮称)			○											
	キヒダイッボンシメジ			○										VU	
	アキノアシナガイグチ			○										VU	
	タマノリイグチ			○										VU	
	キノガサタケ			○											
	ウスキキノガサタケ			○								VU		VU	
	ドングリキンカクキン				○									NT	
	トガリツクミタケ				○									NT	
	アケボノタケ				○									NT	
	ナナイロヌメリタケ				○									NT	
	カバイロコナテングタケ				○									NT	
	ソライロタケ				○									NT	
	オオヤシャイグチ				○									NT	
	アヤメイグチ				○									NT	
	アシナガイグチ				○									NT	
	ヒメウグイスイグチ				○									NT	
	ウツロイイグチ				○									NT	
	コウタケ				○										
	ツチグリカタワタケ				○							VU			
	コウボウフデ				○									NT	
オニフスベ				○									NT		
ツキヨタケ							○				VU				
ウスキノミタケ							○							準絶滅危惧より変更	
群落	ムクノキーエノキ群集	○													特定植物群落
	シイモチーシリブカガシ群集			○											特定植物群落
	ハマサジ群集			○											
	フクド群集			○											
	クロモジープナ群集			○											追加, 特定植物群落
	イヌブナ群落			○											
	イノデアブノキ群集				○										特定植物群落
	カナメモチーコジイ群集				○										特定植物群落
	ナナメノキーアラカシ群集				○										特定植物群落
	ツクバネガシーシラカシ群集				○										特定植物群落
アブラチャンーホソバタブ群集				○										特定植物群落	

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，国内希少野生動植物種
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

表8 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況 その5

分類群	和名	絶滅		広島市の絶滅のおそれのあるもの				法等指定状況						備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	情報不足	環境指標種	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB	水産庁RDB		広島県RDB
群落	マアザミ-ヌマガヤ群集				○										
	イトイヌノハナヒゲ群集				○										
	クロソヨゴーツガ群集				○										追加, 特定植物群落
	ヤマキ亜群集														
	シキミーモミ群集					○									準絶滅危惧より変更
	シノブ-アカマツ群集					○									
	クロソヨゴーツガ群集					○									特定植物群落
哺乳類	カワネズミ						○							VU	
	コキクガシラコウモリ						○								
	ユビナガコウモリ						○							NT	
	テングコウモリ						○				VU			VU	
	コテングコウモリ						○				VU			VU	
	オヒキコウモリ						○				DD			CR+EN	
	ニホンモモンガ						○							NT	
	ヤマネ						○	○			NT			NT	
	ツキノワグマ						○		国際	指定				CR+EN	
	ニホンイタチ						○							NT	
ムササビ							○								
鳥類	ブッポウソウ			○									VU	CR+EN	
	ヤイロチョウ			○					国内		EN			CR+EN	
	ミサゴ					○					NT			NT	
	オシドリ					○								NT	
	ダイシャクシギ					○								NT	
	チュウサギ						○				NT			NT	
	ミゾゴイ						○				NT			DD	
	ハチクマ						○				NT			NT	
	ハイタカ						○				NT			NT	
	オオタカ						○		国内		VU			VU	
	サシバ						○							DD	環境指標種より変更
	クマタカ						○		国内		EN			CR+EN	
	ハヤブサ						○		国内		VU			VU	
	ヤマドリ						○							NT	
	コアジサシ						○		国際		VU			CR+EN	
	アオバズク						○								環境指標種より変更
	フクロウ						○								環境指標種より変更
	コミミズク						○							NT	
	ヨタカ						○							NT	
	アカショウビン						○								
	オオアカゲラ						○							NT	
	サンコウチョウ						○							NT	
ダイゼン							○						NT		
ハマシギ							○						NT		
オオヨシキリ							○								
爬虫類	イシガメ				○									NT	自然誌構成種より変更
	トカゲ				○									NT	自然誌構成種より変更
	タワヤモリ					○								VU	
	スッポン						○				DD		DD	DD	自然誌構成種より変更
両生類	タカチホヘビ					○								NT	
	ニホンヒキガエル				○									VU	
	オオサンショウウオ				○			○	国際		NT			VU	
	ニホンアカガエル						○							NT	

(注)文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，国内希少野生動植物種
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種

表8 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況 その6

分類群	和名	絶滅					環境指標種	法等指定状況					備考		
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念		情報不足	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB		水産庁RDB	広島県RDB
両生類	トノサマガエル												NT	自然誌構成種より変更	
	ヌマガエル														
	イモリ												NT	自然誌構成種より変更	
淡水魚類	シラウオ			○											
	ヤリタナゴ			○											
	インドジョウ			○						EN	V		VU		
	アカザ			○						VU			CR+EN	水産庁：九州の個体群が危急種	
	ゴクラクハゼ			○									CR+EN	絶滅より変更	
	スミウキゴリ			○											
	カジカ(ウツセミカジカを含む)			○									CR+EN		
	ワカサギ				○										
	サツキマス				○							E	CR+EN	(自然個体群)	
	アブラボテ				○								NT		
	メダカ				○						VU	E	CR+EN		
	オヤニラミ				○						NT	R	VU		
	ウキゴリ				○								NT		
	スジシマドジョウ(中型種族)					○							VU		
	ドンコ					○							NT		
	スナヤツメ			○							VU	R	CR+EN		
	昆虫類	ネアカヨシヤンマ	○											VU	
		タガメ	○								VU			CR+EN	
コガタノゲンゴロウ		○								CR+EN			CR+EN		
オオクワガタ		○								NT			NT		
シルビアシジミ		○								CR+EN			CR+EN		
オオウラギンヒョウモン		○								CR+EN			EX		
カワラバッタ				○									VU		
コオイムシ				○							NT		NT	絶滅より変更	
カワラハンミョウ				○							VU		CR+EN		
マルチビゲンゴロウ				○										追加	
コマルケシゲンゴロウ				○									NT	追加	
ゲンゴロウ				○							NT		NT		
シマゲンゴロウ				○											
ギフチョウ				○							VU		NT		
アオハダトンボ					○								NT		
クツワムシ					○								NT		
ヒメハルゼミ					○								NT		
ナバブタムシ					○									追加	
エリザハンミョウ					○										
オオオサムシ(陸島個体群)					○										
マイマイカブリ(陸島個体群)					○										
ヒョウタンゴムムシ					○										
コルリクワガタ					○										
オオクロカミキリ					○								NT		
ヒゲナガカミキリ					○								NT		
コハンミョウ						○									
サワダマメゲンゴロウ						○								追加	
ハネナシセスジキマワリ					○										
ヤマトシロオビトラカミキリ					○										
タテジマカミキリ					○										
オオムラサキ					○					NT		NT			

(注)文化財保護法：特別天然記念物、天然記念物(国指定)、広島県天然記念物
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」、国際希少野生動植物種、国内希少野生動植物種
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」、指定野生生物種、特定野生生物種
環境省RDB、広島県RDB：EXは絶滅、CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類、CRは絶滅危惧ⅠA類、ENは絶滅危惧ⅠB類、
VUは絶滅危惧Ⅱ類、NTは準絶滅危惧、DDは情報不足
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種、Vは危急種、Rは希少種

表8 広島市の絶滅のおそれのあるもの等の選定状況と法等指定状況 その7

分類群	和名	絶滅					環境指標種	法等指定状況					備考	
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念		情報不足	文化財保護法	種の保存法	県保護条例	環境省RDB		水産庁RDB
昆虫類	マルタンヤンマ						○							
	ジュウシチホシハナムグリ						○							
	グンバイトンボ										VU		NT	
	ムカシヤンマ						○						NT	
	ハッチョウトンボ						○						VU	
	トノサマバッタ						○							
	キバナガミズギワゴミムシ						○							
	ホソクロマメゲンゴロウ						○							
	オビモンマグソコガネ						○						VU	
	ヒゲコガネ						○						NT	
	ホソコハナムグリ						○						NT	
	クロカナブン						○							
	ヤマトタムシ						○							
	ゲンジボタル						○							
	ヘイケボタル						○							
	ウスバカミキリ						○							
	キマダラカミキリ						○							
	ミヤマカミキリ						○							
	ヨツスジトラカミキリ						○							
	セダカコブヤハズカミキリ						○							
クワカミキリ						○								
シロスジカミキリ						○								
アミメトビケラ						○								
ウスイロオナガシジミ						○								
ヒロオビミドリシジミ						○						VU		
クモ類	キシノウエトタテグモ					○					NT		NT	
	キノボリトタテグモ					○					NT		NT	
甲殻類	カブトガニ			○							CR+EN		CR+EN	
	テナガエビ				○									
	スナガニ				○								NT	
	ハクセンシオマネキ				○						NT		NT	
	アカテガニ					○								
淡水産貝類	カタハガイ			○							NT	R	NT	
陸産貝類	ハンジロギセル				○						CR+EN		CR+EN	
	ホソヒメギセル				○						NT		NT	
	モリヤギセル				○									
	カワリダネビロウドマイマイ				○						NT		NT	

(注) 文化財保護法：特別天然記念物，天然記念物(国指定)，広島県天然記念物
種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」，国際希少野生動植物種，国内希少野生動植物種
県保護条例：「広島県野生生物の種の保護に関する条例」，指定野生生物種，特定野生生物種
環境省RDB，広島県RDB：EXは絶滅，CR+ENは絶滅危惧Ⅰ類，CRは絶滅危惧ⅠA類，ENは絶滅危惧ⅠB類，
VUは絶滅危惧Ⅱ類，NTは準絶滅危惧，DDは情報不足
水産庁RDB：Eは絶滅危惧種，Vは危急種，Rは希少種